

「第三次国立市子ども総合計画」策定のためのニーズ調査の実施について

1. 目的

「第三次国立市子ども総合計画」の策定にあたり、市内在住の対象者に対してアンケート調査を行うことにより、家庭における子育てについての実情、青少年の考えや生活状況を広く把握し、本計画がより子ども・子育て支援に則したものとするための基礎資料とする。

2. 調査の概要

(1) 調査対象

区分	調査対象	配布件数
I	18歳以上50歳未満の男女	2,100
II	就学前児童の保護者	約2,000
III	小学校1・2・3年生の保護者	900
IV	小学5年生子ども本人	450
	中学2年生子ども本人	450
V	高校2年生該当年齢の子ども本人	700
VI	ひとり親家庭	約500
	合計	約7,100

※ I 及び III～V は住民基本台帳システムから無作為抽出

(2) 調査方法：郵送による配布及び回収

※就学前児童の保護者は、市内保育園、市内幼稚園、子ども家庭支援センターにて配布及び回収

(3) 調査項目の概要

I. 18歳以上50歳未満の男女

- ①年齢、性別、家族構成 ②国立市への愛着、満足度等
- ③就労状況 ④（独身者へ）結婚観等
- ⑤（既婚者へ）子どもをもつこと・子育てに関すること
- ⑥意見・要望

II. 就学前児童の保護者

- ①子育て中の不安 ②地域との関わり、子育て施策の希望
- ③意見・要望

Ⅲ. 小学校1・2・3年生の保護者

- ①住まいに関する事 ②国立市への愛着、満足度等
- ③子ども本人と家族に関する事（家族構成・保護者就労状況等）
- ④子育て等の状況、悩み ⑤結婚や家族のあり方への考え
- ⑥家庭のしつけ、方針 ⑦地域との関わり、子育て施策の希望
- ⑧意見・要望

Ⅳ. 小学5年生・中学2年生子ども本人

- ①子ども本人と家族に関する事 ②毎日の生活（食事・過ごし方・学校等）
- ③地域活動・部活動に関する事 ④保護者のしつけ、相談先について
- ⑤子どもの権利について ⑥自己肯定感、将来について
- ⑦意見・要望

Ⅴ. 高校2年生該当年齢の子ども本人

- ①子ども本人と家族に関する事 ②毎日の生活（食事・過ごし方・学校等）
- ③人間関係、悩みに関する事 ④地域活動・部活動に関する事
- ⑤保護者のしつけ、相談先について ⑥子どもの権利について
- ⑦自己肯定感、将来について ⑧国立市への愛着、満足度等
- ⑨意見・要望

Ⅵ. ひとり親家庭

- ①住まいに関する事、国立市への愛着等
- ②子ども本人と家族に関する事（家族構成・経済状況等）
- ③子育て等の悩み、相談先について ④就労・収入に関する事
- ⑤支援制度、地域との関わりについて ⑥家庭のしつけ、方針
- ⑦意見・要望

3. 調査実施スケジュール（予定） *Ⅱ・Ⅵ以外

- 6月上旬 調査票原稿校了、送付先データ抽出作業
- 6月中旬 調査票印刷、発送準備
- 6月中旬～下旬 調査票発送
- 6月下旬～7月上旬 調査票回収作業
- 7月上旬～中旬 データ入力、集計
- 7月下旬 集計報告書（素案）

就学前児童の保護者の皆様へ 「第三次国立市子ども総合計画」に関するアンケートへのご協力をお願い

日ごろより市政にご協力いただきまして、厚くお礼申し上げます。

国立市では、平成 23 年 3 月に「第二次国立市子ども総合計画」(平成 23 年度～27 年度)を策定いたしました。本年度は計画の最終年となり、現在、新たな「第三次国立市子ども総合計画」の策定に向けた審議を進めております。この調査は、本計画がより子ども・子育て支援に則したものとするための基礎資料として、ご家庭での子育てに関する悩みやお考えを伺うことを目的として実施するものです。

このお願いは、就学前のお子さんがいるご家庭を対象にアンケートを実施させていただいております。

調査票は無記名です。ご回答の内容が他の人に知られることはありません。また、調査の結果を目的以外に使用することはありません。さらに、調査の結果は、広報などを通じて皆様にお知らせしていきます。

お忙しいところお手数をおかけいたしますが、本調査の趣旨をご理解いただき、ご協力くださいますようお願い申し上げます。

ご記入が済みましたら、お手数ですが保育園に設置しております「子ども総合計画アンケート回収箱」へ7月15日(水)までに投函いただけますようお願いいたします。

平成 27 年 7 月

☆ このアンケートに関するお問い合わせやご不明な点がございましたら、下記までお願いいたします。

〒186-8501 国立市富士見台2-47-1
国立市役所子ども家庭部児童青少年課
児童・青少年係：担当 松葉・庄司
電話 (042) 576-2111 内線205
FAX (042) 576-0264
e-mail : sec_jidosyonen@city.kunitachi.tokyo.jp

Q1. 子育て中に困った（困っている）こと・不安だった（な）ことは何ですか」 上位5つをお選びいただき、空欄に1～5の数字を入れてください。（同じぐらいのときは同位でも構いません。）

しつけに関する全般について	子ども同士の関わりについて
子どもの健康や身体について	自分や夫（妻）の親・祖父母について
寝かしつけや夜泣きについて	自分自身の身体について
子どもの教育費に関すること	自身の仕事との両立について
幼稚園・保育園の全般について	ご近所づきあいについて
食事について（おやつなども）	ママ（パパ）友について
日常の子育てにかかるお金について	自由回答（ ）

Q2. 「子育て中に困った（困っている）こと・不安だった（な）時は、誰に相談しますか」 上位5つをお選びいただき、空欄に1～5の数字を入れてください。（同じぐらいのときは同位でも構いません。）

夫または妻	友人（昔から・最近のどちらでも）
自分の親・祖父母など	会社関係（上司・同僚など）
夫（妻）の親・祖父母など	保育園・幼稚園の先生
自分のきょうだい	市役所などの公的機関
夫（妻）のきょうだい	インターネットの相談サイト
ママ（パパ）友	いない
ママ（パパ）友以外の近所の方	自由回答（ ）

Q3. 「地域で子育てを支えるために重要だと思うことはどんなことですか」 上位5つをお選びいただき、空欄に1～5の数字を入れてください。（同じぐらいのときは同位でも構いません。）

子育てに関する悩みについて気軽に相談できる人や場があること	地域の伝統文化を子どもに伝える人や場があること
子育てをする親同士で話ができる仲間づくりの場があること	子どもに職業体験や人生経験を伝える人や場があること
子育てに関する情報を提供する人や場があること	学校以外で人とのつながりや社会のルールを学べる場があること
子育て家庭の家事を支援する人や場があること	地域で動植物にふれあう機会があること
不意の外出や親の帰りが遅くなった時などに子どもを預かる人や場があること	小中学校の校外学習や行事をサポートする人がいること
子どもと一緒に遊ぶ人や場があること	子どもの防犯のための声かけや登下校の見守りをする人がいること
子どもにスポーツや勉強を教える人や場があること	子どもと大人と一緒に参加できる地域の行事やお祭りなどがあること

Q4. 「今後の子育て支援施策として、実施してほしいと思うものは何ですか」 上位5つをお選びいただき、空欄に1～5の数字を入れてください。（同じぐらいのときは同位でも構いません。）

子育て家庭への手当の支給や税制優遇措置の充実	育児休業制度の充実
保育園、幼稚園や学童保育所の費用負担の軽減の充実	子育て講座等学習の機会の充実
未就園児の自宅保育の経済的負担への支援	性に関する学習の機会の充実
出産費用の負担軽減の充実	子ども連れでもでかけやすい安全な道路、公園、交通機関等の整備の推進
子育て家庭への住宅の確保や家賃の補助	育児サークルへの支援の充実
しょうがい児保育及びしょうがい児のいる家庭への援助の充実	妊婦健診の充実
あらゆるマイノリティへの理解や支援の充実	食品の安全性の確保の推進
ひとり親家庭への援助の充実	育児について身近に相談できる体制の充実
虐待やDVへの支援の充実	地球温暖化等の環境汚染に対する対策の推進
男女共同参画の意識啓発の推進	防犯や子どもを犯罪から守るための対策の充実
情報誌やインターネットなどによる子育て情報の提供の充実	いじめや不登校などへの相談・支援体制の充実
子育て支援サービスの利用手続きの簡略化	病児・病後児施設の拡充
夜間の小児救急医療の充実	とくにない・わからない

その他、ご意見がありましたらご自由にご記入ください。

アンケートにご協力ありがとうございました。